

CSV 通信 3号

令和6年 11月発行
東京都立中野特別支援学校
校長 和田 慎也
文責:CSV 堀切 美和

★10月28日から、各地区において、ユニバーサルデザインに基づく生徒支援～人的UDを中心に～ワークショップを実施しました。そちらの様子をお伝えします。
また、島しょの高等学校訪問は、3つの島におうかがいしました。

○ワークショップについて

今年度の発達障害教育ワークショップのテーマは「人的UD(ユニバーサルデザイン)」でした。まずはじめに阿部利彦先生(星槎大学大学院)の講演動画を視聴し、教育におけるユニバーサルデザインについて学んだあと、個人ワーク・グループワークで考えを深めていきました。今回は架空の学校において人的UDをどのように進めていったらよいかを先生方に考えていただきました。児童・生徒が「この学校(教室・場所)にいていいんだ」と安心して思えるような場を作ることが人的UDの根底であり、そのような学校づくりがこれからも広がってほしいと思います。

【東部地区 10月28日】

東部地区では、高等学校50名、特別支援学校20名、合計70名の先生方が参加され、12のグループに分かれて話し合いました。今回は地区拠点校単位の編制を崩してのグループでしたが、活発に意見交換されている様子が見受けられ、3年目の連携の深まりを感じました。参考にさせていただいた「おだいばしユニバーサルデザイン」のお話も直接お聞きしました。これからも東部地区らしい江戸っ子気質を大切に、明るくにぎやかなネットワークでありたいと思います。

【中部地区 10月30日】

中部地区では、高等学校48名、特別支援学校10名、合計58名の先生方が10グループに分かれて、ワークを行いました。エリアネットワークとは異なるグループ編制でしたが、「人の話を肯定的に受け止めるアイスブレイク」成果がすぐに表れ、大変和やかにワークが進んでいました。人的UDは目に見えるものではありませんが、取組について、高等学校、特別支援学校の先生方が深く話し合われている姿が印象的でした。今後の各校での取組をぜひ共有していければと思います。

【西部地区 11月1日】

西部地区は、延べ60名の先生方にご参加いただき、人的環境のUDについて学び合いました。東部地区・中部地区同様、都立版エリアネットワークの編制ではないグループでのワークになりましたが、人的環境のUDを意識した自己紹介の効果もあり、終始、なごやかなムードの中、活発な意見交換がなされました。新たな顔の見える関係も広がり、生徒を中心としながら、これからも学校内外の関係者で力を合わせていきましょう!



【島しょ 高等学校訪問】

新島

10/21~22の行程で訪問し、高等学校の他、島内連携で高校のコーディネーターの先生と「新島村教育支援センター」「新島村立新島小学校」を訪問してきました。新島においても不登校の児童生徒への対応は喫緊の課題となっていて、小・中学校と高等学校との連携が増々必要であることを感じました。

【都立新島高等学校】

授業見学、生徒情報共有、特別支援教育の推進状況や課題

*授業見学では、式根島在住の生徒が船の欠航のためオンラインで授業を受けていたり、島留学の生徒が在籍するなど、新島特有の様子も見られました。課題として、境界知能や知的障害の生徒の学習内容と評価があることもお聞きしました。また村との連携で、特別支援教育コーディネーター連絡会、就学支援委員会、特別支援教育推進協議会、新島村一貫教育特別支援教育部会にも参加しています。



神津島

11/7~8の行程で訪問し、高等学校の他神津村立神津小学校、神津中学校へ訪問しました。小学校中学校の先生方からのニーズに応じ、特別支援学校への進学についての情報提供を行いました。

【都立神津高等学校】

授業見学、スクールカウンセラーとの打ち合わせ、特別支援教育コーディネーター会への参加

*1年生では各教科別のファイルが揃えられてスタートするそうです。また階段の全学年向けの掲示板も項目ごとに揃えられ情報を探しやすくなっていました。

島内で特別支援教育、生活指導、学校保健等小中高等学校の連携が図られているとのことでした。



小笠原

11/18~23(内船中2泊)の行程で訪問し、高等学校の他、島内連携で「小笠原小学校」「小笠原中学校」「母島小中学校」「教育庁小笠原出張所」「小笠原村教育委員会」を訪問してきました。

【都立小笠原高等学校】

授業観察、ケース相談、ヒアリング、校内研修会講師

*授業観察では、全ての学年の授業を一通り参観しました。どの学年も、授業中の姿勢や教師への注視、ノートテイクなど生徒はよく取り組んでいました。その後のケース相談で、各学年の担任の先生と気になる生徒の実態と今後の具体的指導などについてお話をしました。またヒアリングでは養護教諭の先生や管理職の先生のそれぞれの立場からのお話を聞きました。放課後は、学校の多数を占める若手の先生を想定し「発達障害に対する基本的な理解と対応」についての研修会を行いました。

